

# 平成 27 年度 市政世論調査

## 報告書 概要版

この報告書概要版は、平成 27 年 7 月 1 日～7 月 16 日にかけて実施した「平成 27 年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

### < 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 中核市移行について	5
3. 男女共同参画について	5
4. 防犯について	7
5. 景観について	8
6. 水田の保全について	9
7. 自治基本条例関係について	10
8. 地域医療について	11
9. 越谷特別市民「ガーヤちゃん」について	12
10. ウッドデッキの利活用について	13
11. 市内の公共交通について	14
12. 生涯学習活動について	15
13. 広報について	16
14. 越谷市の施策について	17

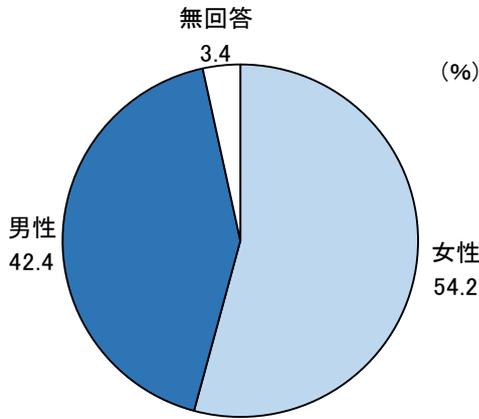
### I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送方法 (郵送配布・郵送回収)
- ◆ 調査期間 : 平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 7 月 16 日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数 2,496 人 回収率 49.92%

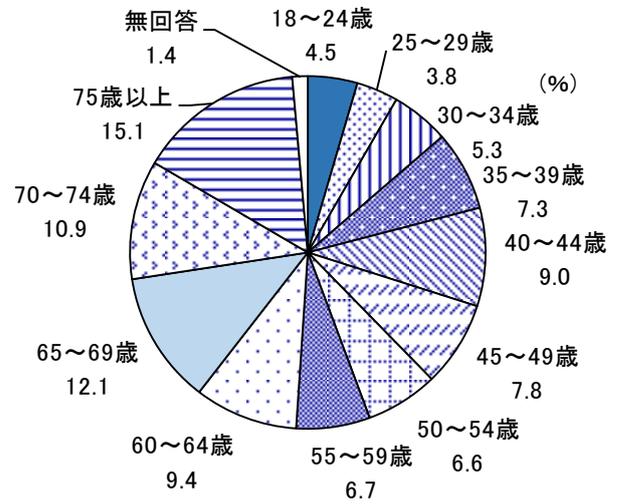
## II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

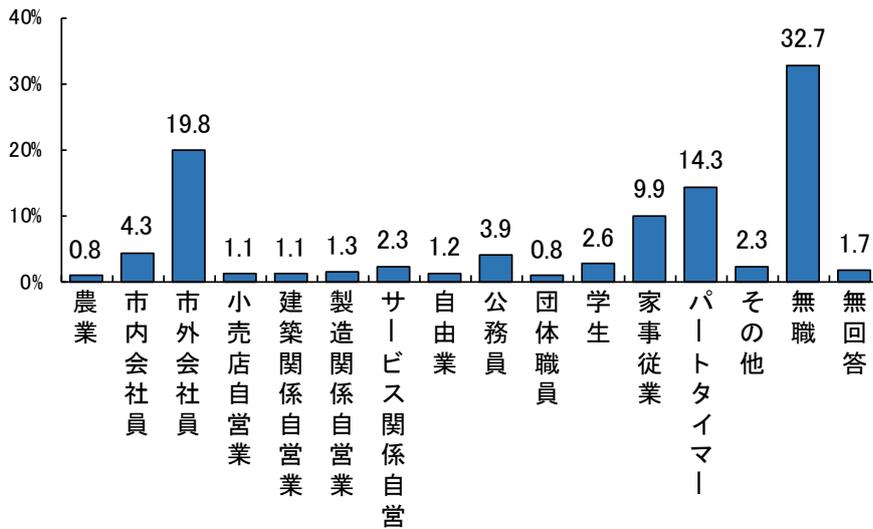
### ◆性別 (n=2,496)



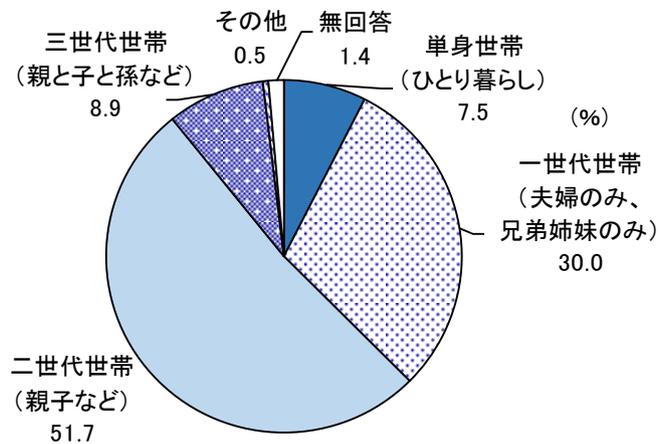
### ◆年代 (n=2,496)



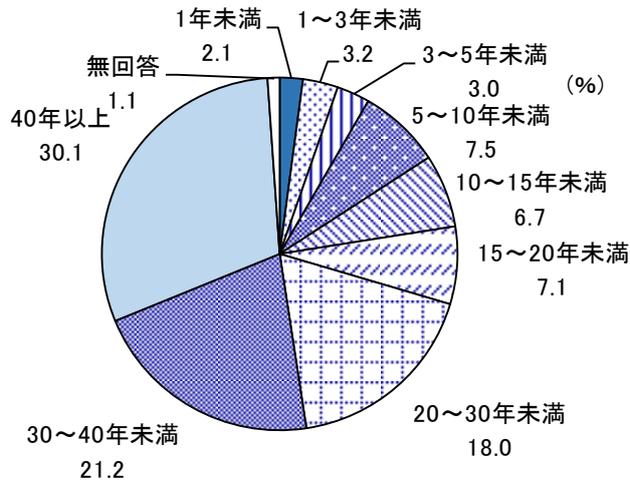
### ◆職業 (n=2,496)



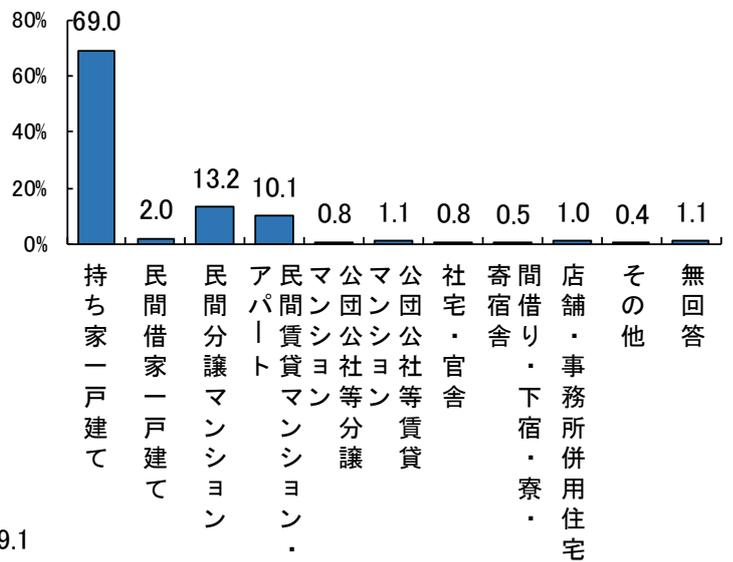
### ◆世帯の状況 (n=2,496)



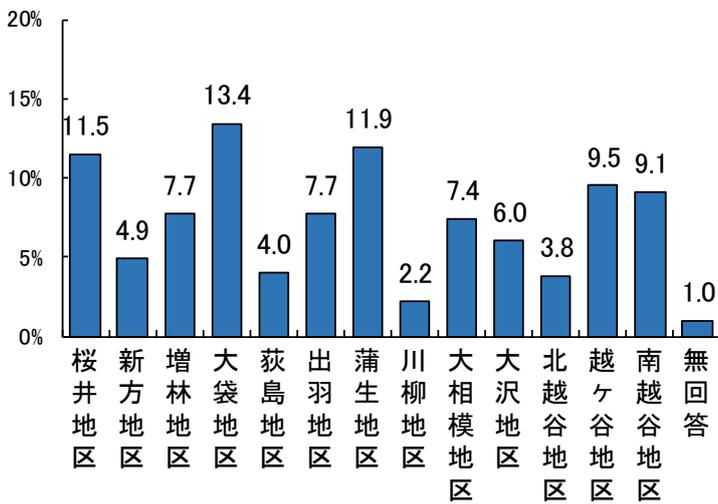
◆居住年数 (n=2,496)



◆居住形態 (n=2,496)



◆居住地区 (n=2,496)



### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 暮らしや居留意向について

- 現在の暮らし向きについて『満足』（「十分満足している」+「十分とはいえないが一応満足している」）が約5割。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」）は7割強。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」+「引っ越したい」）の主な理由は、「交通の便が悪いので」が1割強で最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,496)

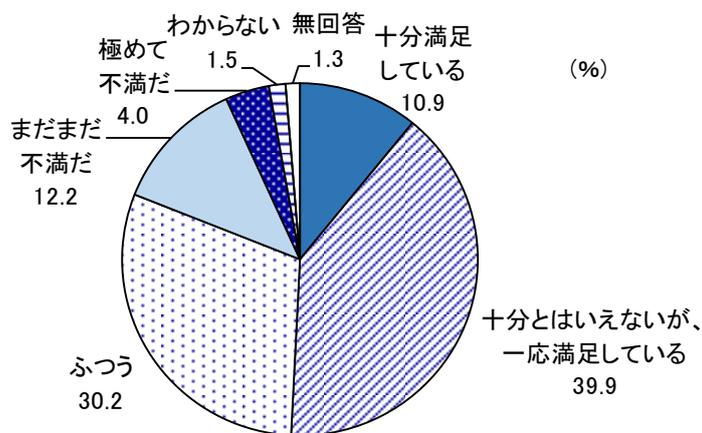


図 1-2 居留意向 (n=2,496)

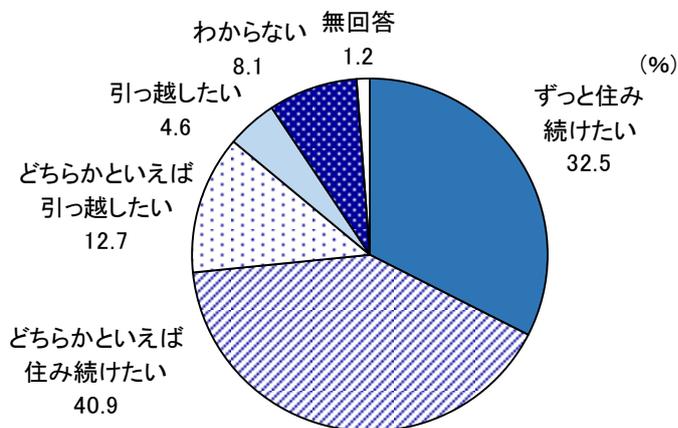
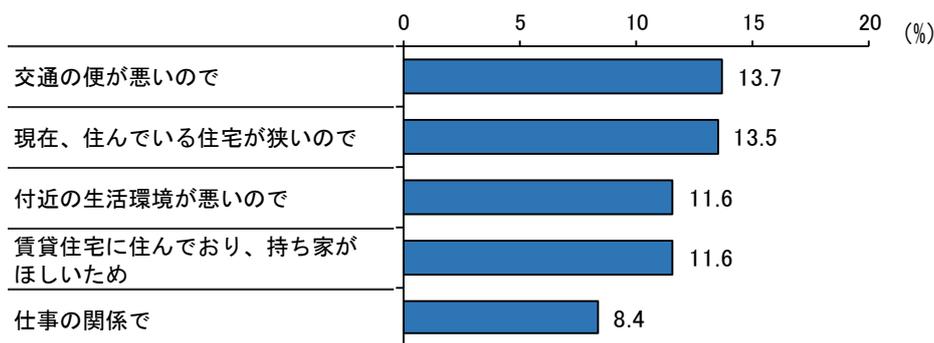


図 1-3 転居意向の理由 (上位 5 位) (n=431)



## 2. 中核市移行について

- 中核市に移行した認知度は『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が5割半ば。
- 中核市になったことにより期待することは、「保健所の開設による保健・医療・健康に関するサービス向上」が6割弱で最も多い。

図 2-1 中核市移行の認知 (n=2,496)

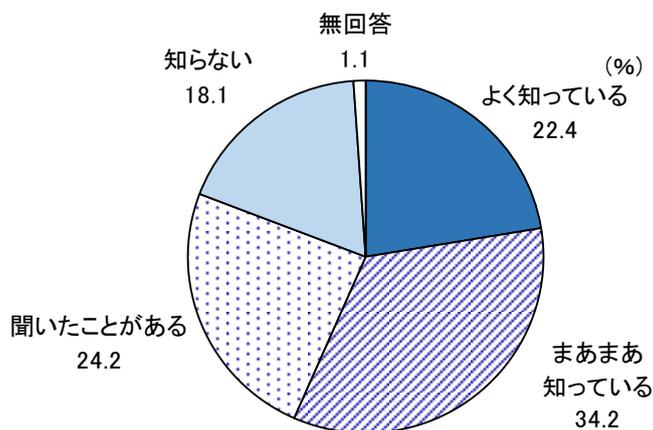
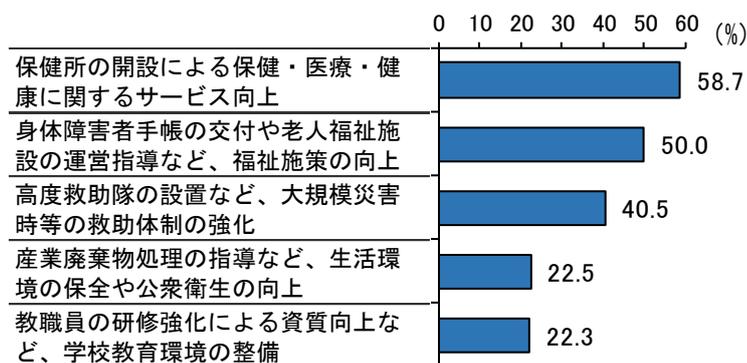


図 2-2 中核市への期待 (上位 5 位) (n=2,496)



## 3. 男女共同参画について

- 「教育・しつけ」で大切だと思うことは、男の子では「責任をもたせる」が6割半ばで最も多く、女の子では「やさしさや思いやりをもたせる」が約8割で最も多い。
- 男女がともに仕事と家庭を両立するために必要な条件は「育児・介護休業制度を利用できる職場環境を整備すること」が約6割で最も多い。
- 日常生活のなかでの優先度について、希望は『仕事』と『家庭生活』をともに優先が3割強で最も多く、現実には『仕事』を優先が3割強で最も多い。
- 男女共同参画施設が今後力を入れることは「いつでも誰でも気軽に立ち寄れる交流の場」が5割で最も多い。

図 3-1 「教育・しつけ」で大切だと思うこと (上位 5 位) (n=2,496)  
(男の子) (女の子)

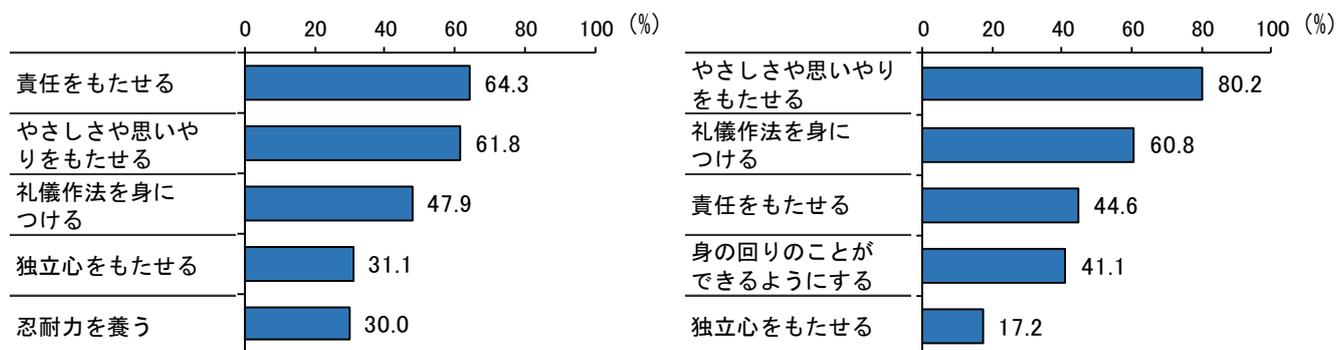


図 3-2 男女がともに仕事と家庭を両立するために必要な条件（上位 5 位）（n=2,496）

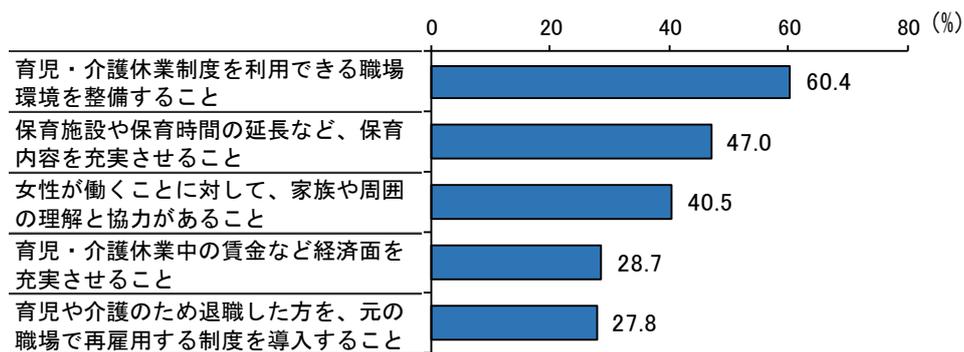


図 3-3 日常生活のなかでの優先度（希望・現実）（n=2,496）

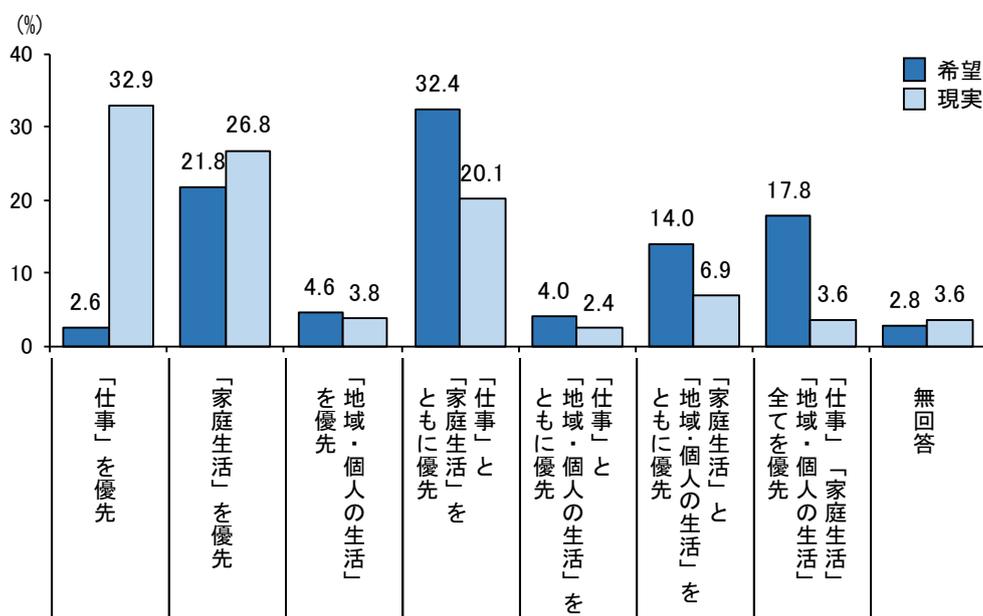
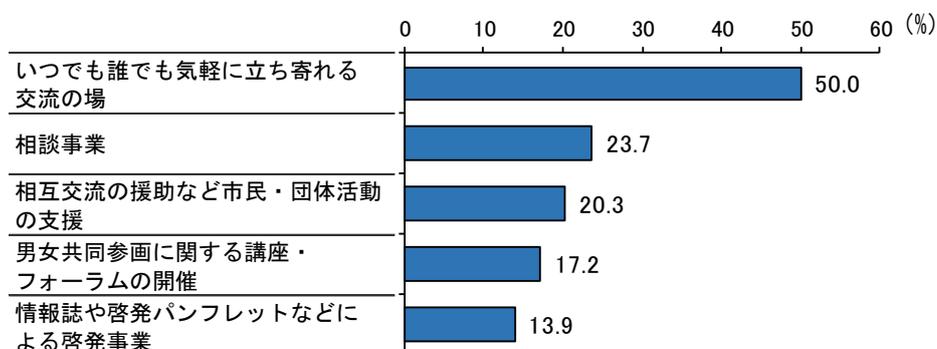


図 3-4 男女共同参画施設が今後力を入れること（上位 5 位）（n=2,496）



#### 4. 防犯について

- 日頃、脅威や不安を感じる街頭犯罪等は「路上強盗・ひったくり」が8割強で最も多い。
- 市が行う効果的だと思う防犯対策は「防犯カメラの設置」が約6割で最も多い。
- 自主的な防犯活動には「参加したことがある」が2割弱。
- 参加したことがある自主防犯活動は「地域パトロール活動」が6割強で最も多い。
- 自主的な防犯活動には参加したことがない人の参加意向は、参加したいと「思う」が2割強。
- 自主的な防犯活動に参加したいと思わない人の理由は「時間がない」が約4割で最も多い。

図 4-1 脅威や不安を感じる街頭犯罪（上位 5 位）  
(n=2,496)

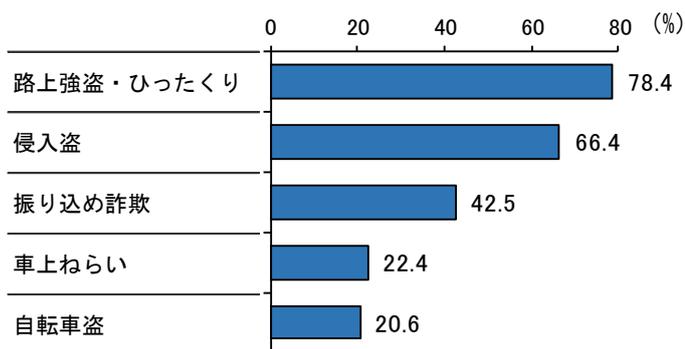


図 4-2 効果的だと思う防犯対策（上位 5 位）  
(n=2,496)

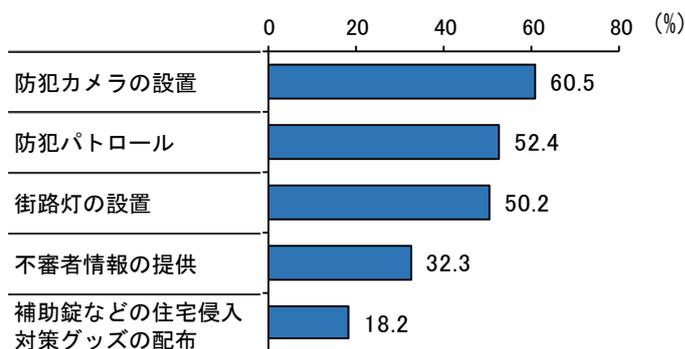


図 4-3 自主的な防犯活動の参加 (n=2,496)

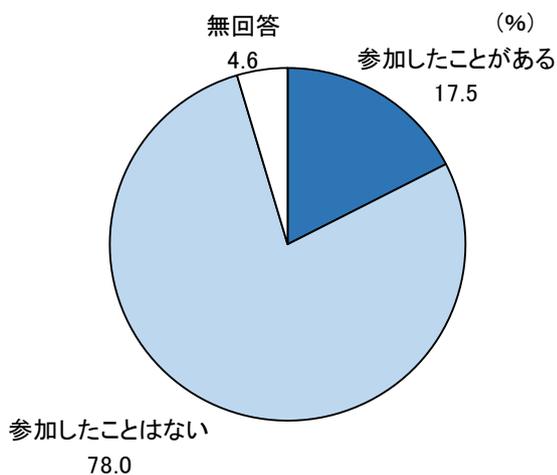


図 4-4 参加したことがある自主防犯活動（上位 5 位）(n=436)

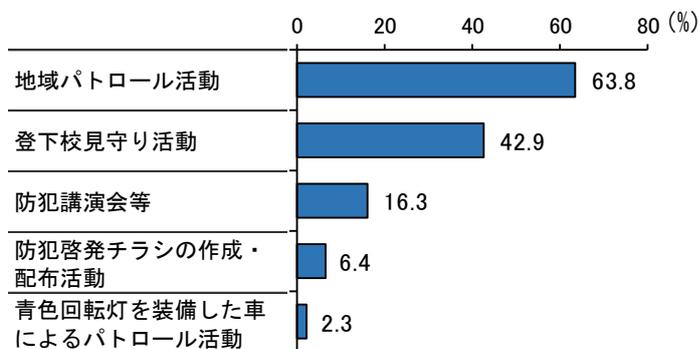


図 4-5 自主的な防犯活動への参加意向  
(n=1,946)

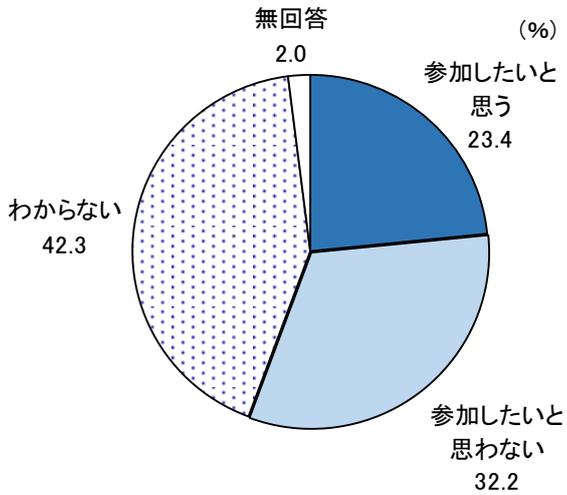
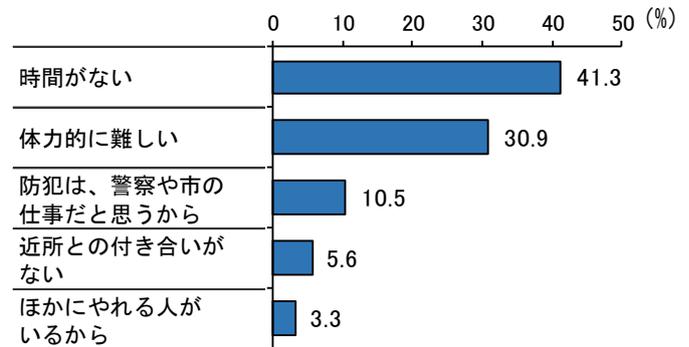


図 4-6 自主的な防犯活動に参加したいと思わない理由  
(上位 5 位) (n=627)



## 5. 景観について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は『満足』（「満足している」+「十分とはいえないが、概ね満足している」）が6割弱。
- 良い景観（風景）のまちをつくるため、行政に望むものは「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が約5割で最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度 (n=2,496)

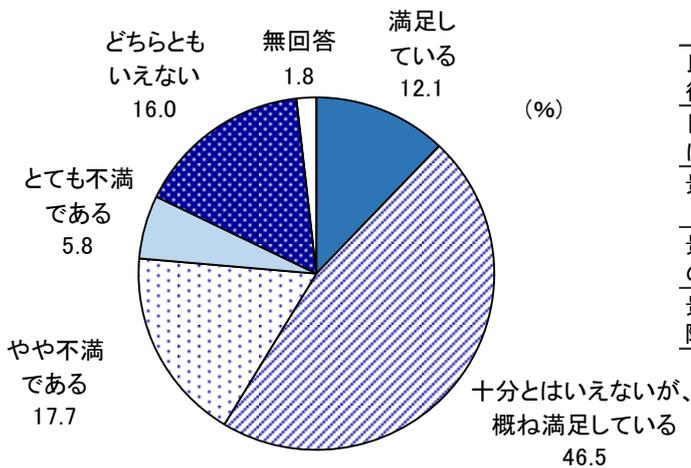
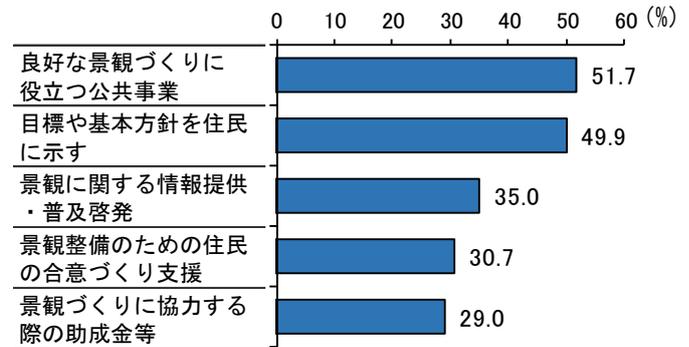


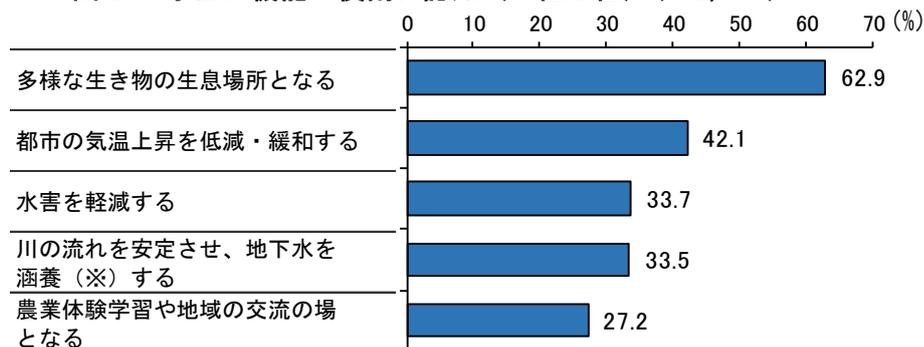
図 5-2 行政に望むこと（上位 5 位）(n=2,496)



## 6. 水田の保全について

- 水田の機能・役割の認知は「多様な生き物の生息場所となる」が6割強で最も多い。
- 水田を今後も保全すべきかの考えについては「必要最小限の開発は容認するべきだが、それ以外の水田は保全するべきだと思う」が3割半ばで最も多い。
- 水田を保全するための活動は、「必要だと思う」が7割弱。
- 参加してもいいと思う保全活動は「イベントなどで年1～2回程度であれば参加してもいいと思う」が約6割で最も多い。

図 6-1 水田の機能・役割の認知（上位 5 位）（n=2,496）



※涵養（かんよう）：地表の水（降水や河川水）が土壌に浸透し、地下水が供給されること。

図 6-2 水田の保全（n=2,496）

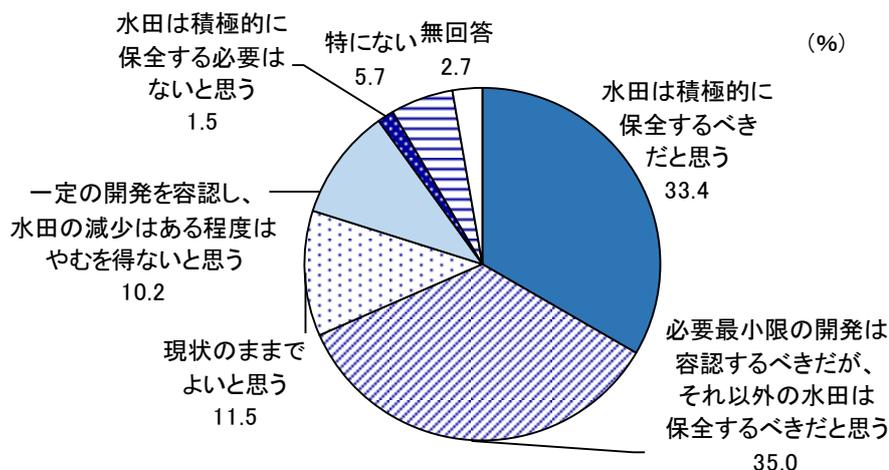


図 6-3 水田を保全するための活動（n=2,496）

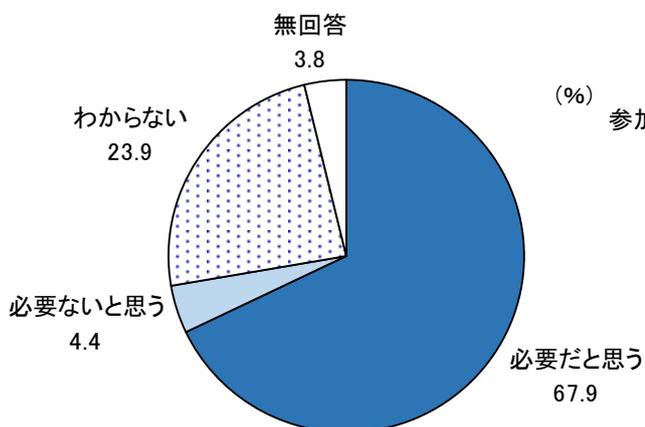
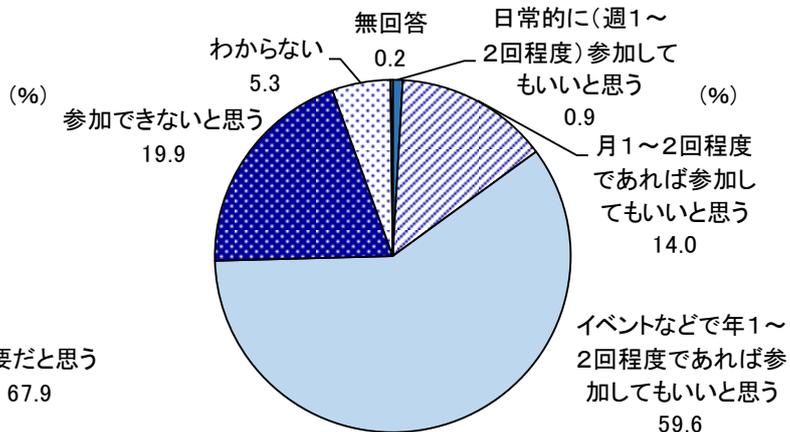


図 6-4 水田の保全活動への参加意向（n=1,694）



## 7. 自治基本条例関係について

- 「自治基本条例」の認知は『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が約1割。
- 自治会等の組織と市が協働する必要性は『必要だと思う』（「必要だと思う」+「ある程度必要だと思う」）は約7割。
- 協働が必要（効果的）な分野は「暮らしの安全・安心に関すること」が8割弱で最も多い。
- 協働の推進に必要な施策は「市政に関する情報を分かりやすく公開すること」が6割弱で最も多い。

図 7-1 「自治基本条例」の認知 (n=2,496)

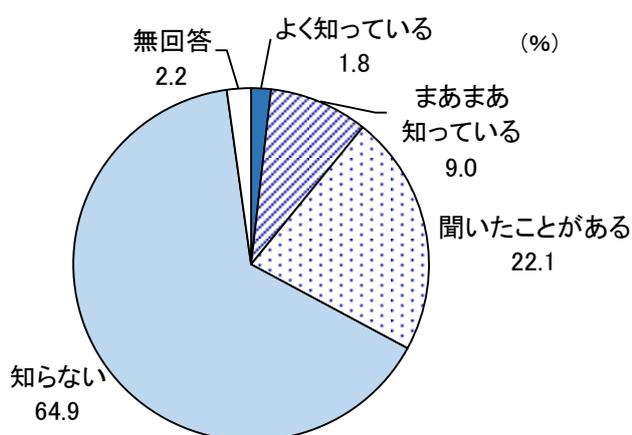


図 7-2 組織と市が協働する必要性 (n=2,496)

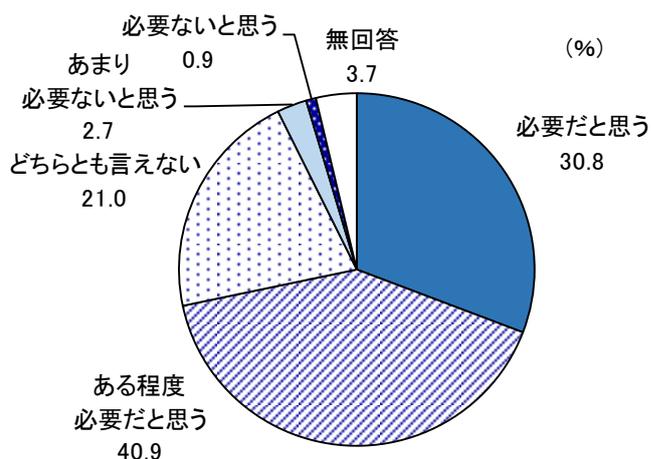


図 7-3 協働が必要（効果的）な分野 (上位5位) (n=1,790)

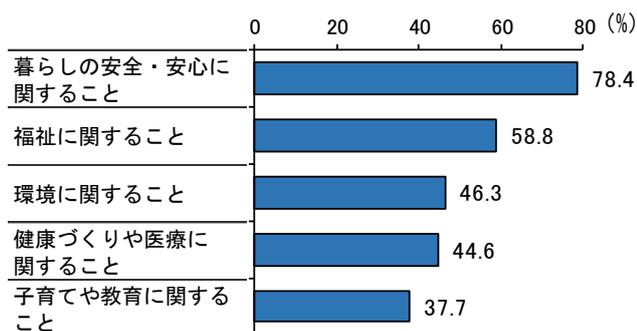
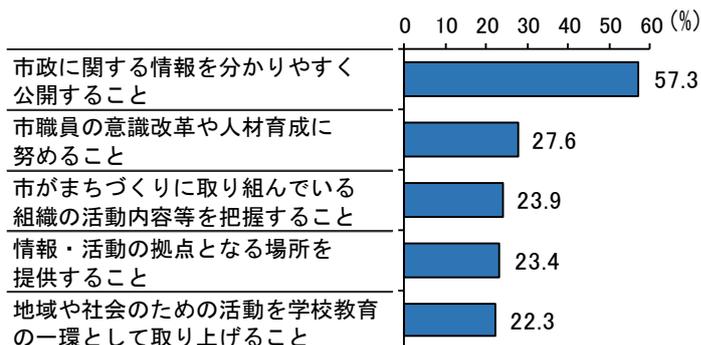


図 7-4 協働の推進に必要な（効果的）な施策 (上位5位) (n=1,790)



## 8. 地域医療について

- 「かかりつけ医」の有無は「いる」が6割強。
- 「かかりつけ医」を選んだ理由は「住まいから近い」が7割強で最も多い。
- 「かかりつけ医」を持たない理由は「あまり医療機関にかかることがない」が約6割で最も多い。

図 8-1 「かかりつけ医」の有無 (n=2,496)

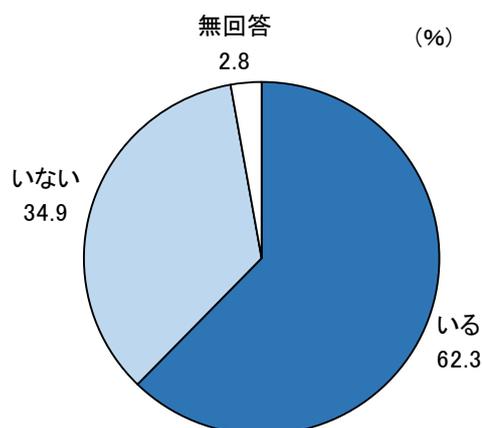


図 8-2 「かかりつけ医」を選んだ理由 (上位 5 位) (n=1,554)

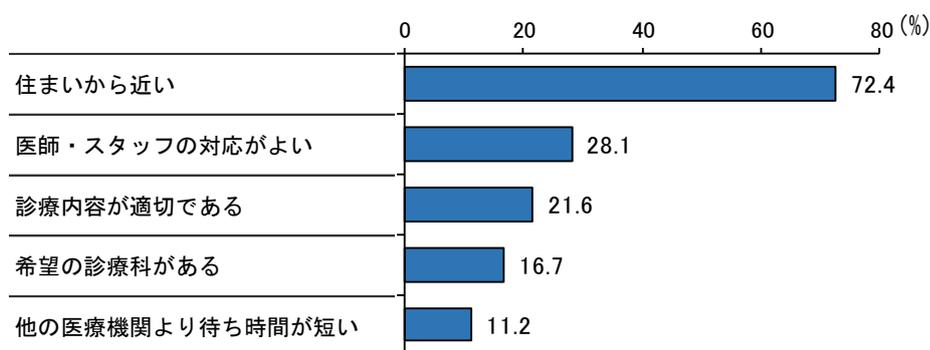
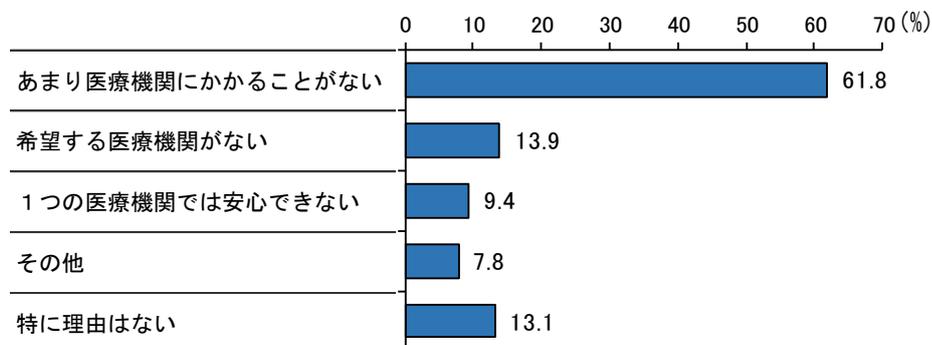


図 8-3 「かかりつけ医」を持たない理由 (n=871)



## 9. 越谷特別市民「ガーヤちゃん」について

- 越谷特別市民「ガーヤちゃん」の認知は「知っている」が6割強。
- 「ガーヤちゃん」の認知媒体は「広報こしがや」が7割半ばで最も多い。
- 越谷市への愛着は『愛着がある』（「とても愛着がある」+「愛着がある」+「やや愛着がある」）が約7割。

図 9-1 「ガーヤちゃん」の認知 (n=2,496)

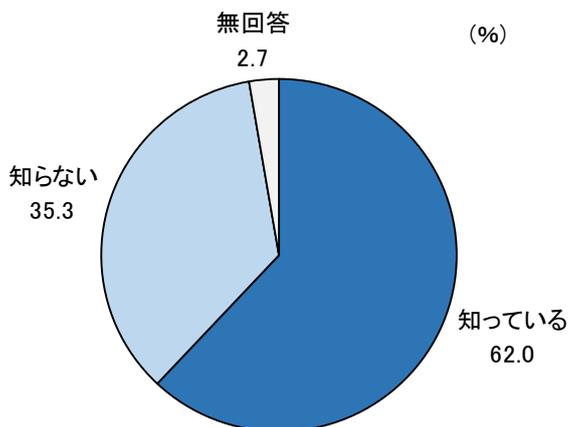


図 9-2 「ガーヤちゃん」の認知媒体 (上位 5 位) (n=1,547)

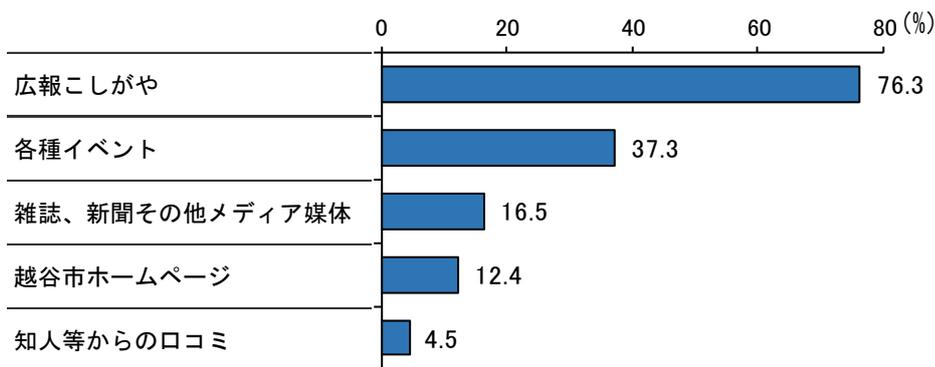
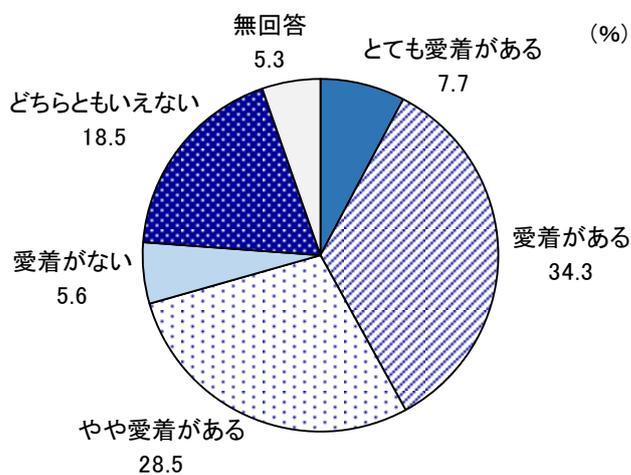


図 9-3 越谷市への愛着 (n=2,496)



## 10. ウッドデッキの利活用について

- 越谷市役所東側の葛西用水沿いに「ウッドデッキ」が整備されていることの認知は「知っている」が約5割。
- 「ウッドデッキ」の利用有無は「利用したことがある」が2割半ば。
- 参加したいと思う「ウッドデッキ」でのイベントは「地場農産物等の直売」が3割半ばで最も多い。
- 「ウッドデッキ」への期待は「葛西用水沿い等を散策したときの憩いの空間（休憩場所）」が3割半ばで最も多い。
- 今後の市の観光推進事業に期待することは「物産展の開催など他地域との観光物産交流の促進」が4割半ばで最も多い。

図 10-1 「ウッドデッキ」の認知 (n=2,496)

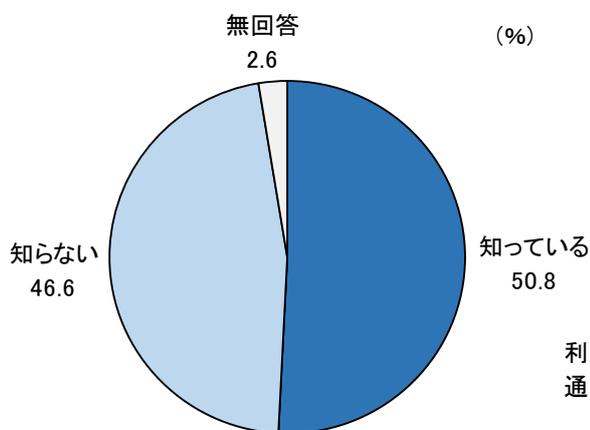


図 10-2 「ウッドデッキ」の利用有無 (n=1,268)

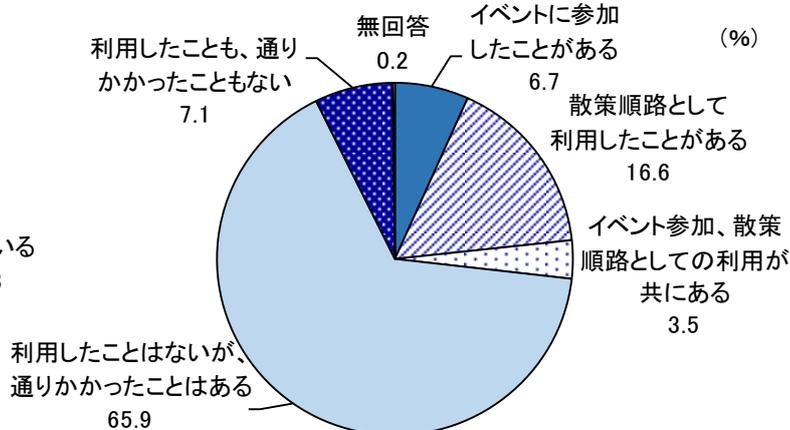


図 10-3 参加したいと思う「ウッドデッキ」でのイベント (上位5位) (n=2,496)

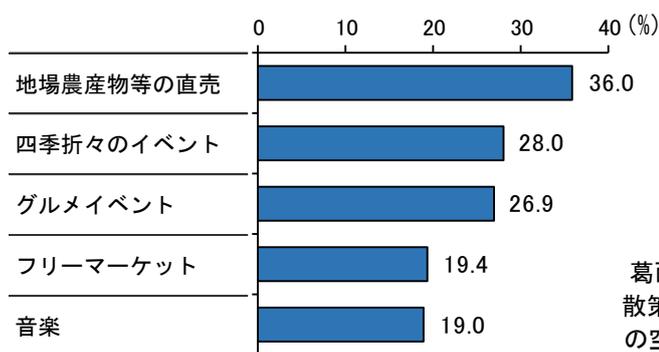


図 10-4 「ウッドデッキ」への期待 (n=2,496)

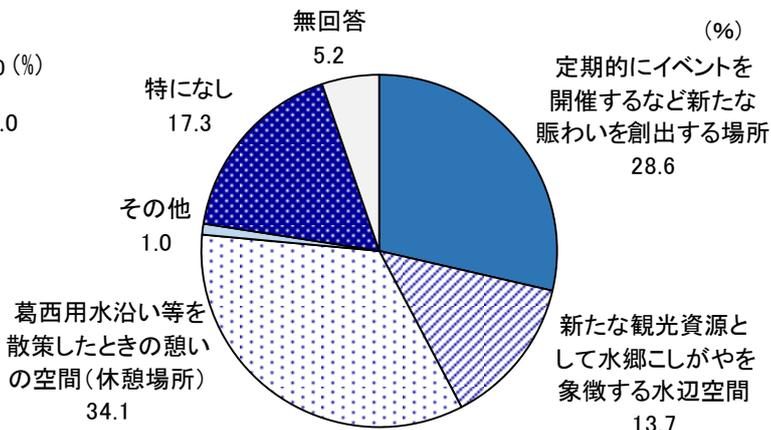
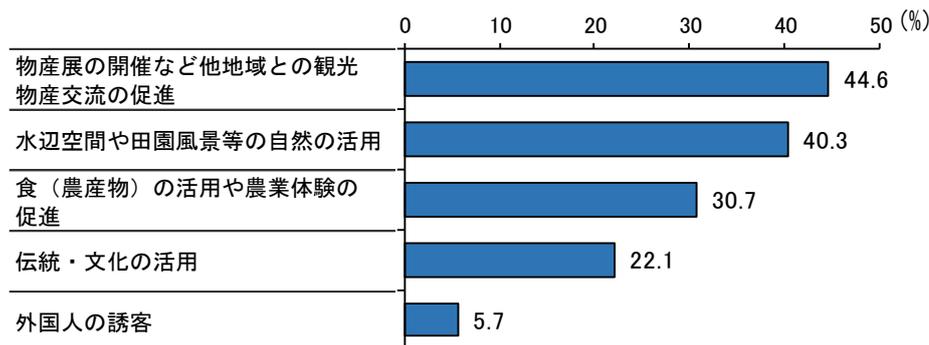


図 10-5 観光推進事業への期待 (上位5位) (n=2,496)



## 11. 市内の公共交通について

○公共交通の利用有無について、鉄道は「常に利用」が約3割、バスは「全く利用しない」が3割半ば、タクシーは「全く利用しない」が約4割。

○公共交通の満足度で、『満足』（「とても満足している」+「やや満足している」）は鉄道が約7割、バスが3割強、タクシーが2割半ば。

図 11-1 公共交通の利用有無 (n=2,496)

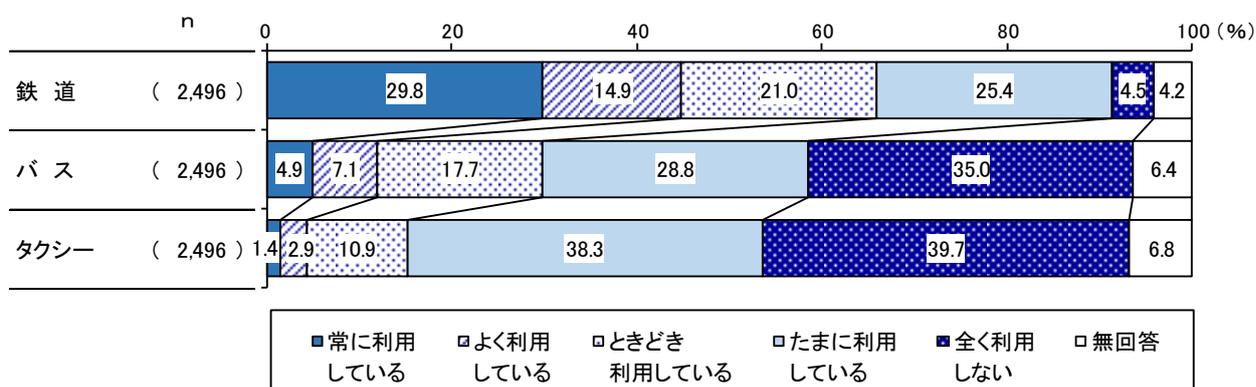
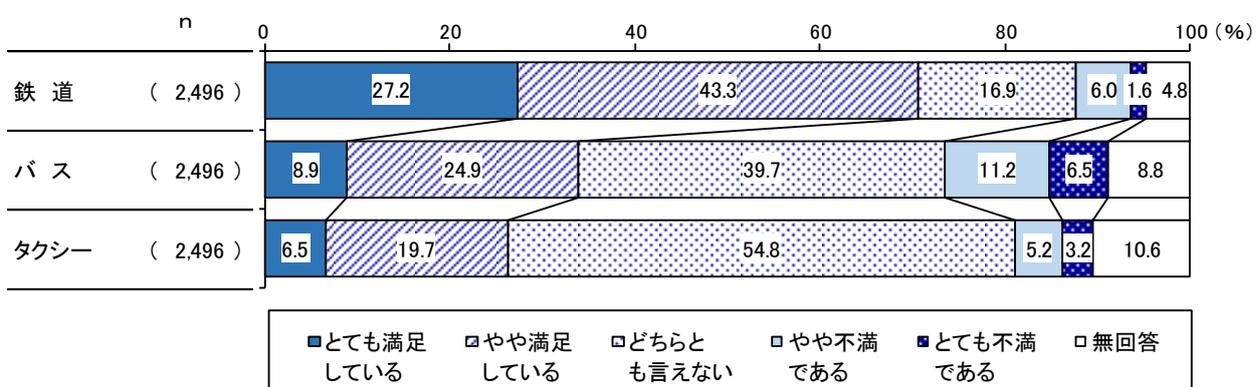


図 11-2 公共交通の満足度 (n=2,496)



## 12. 生涯学習活動について

- この1年くらいの生涯学習活動の経験有無は「経験した」が3割弱。
- 経験した生涯学習活動は「健康・スポーツ」が5割半ばで最も多い。
- 学んだ知識、経験、技能を生かしているかでは「生かしている」が約4割。
- 生涯学習活動で学んだ知識、経験、技能をどの分野で生かしているかでは「文化・スポーツ活動」が6割弱で最も多い。

図 12-1 生涯学習活動の経験有無 (n=2,496)

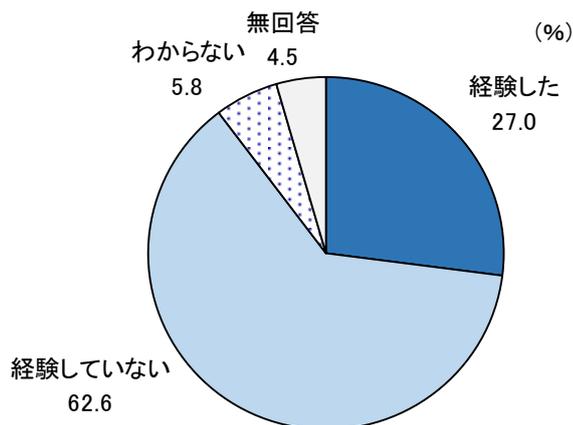


図 12-2 経験した生涯学習活動 (上位 5 位) (n=674)

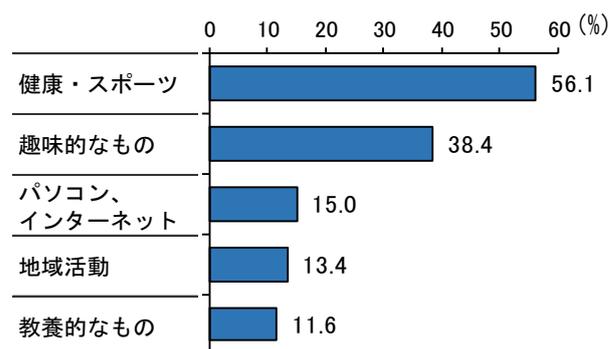


図 12-3 経験した生涯学習活動を生かしているか (n=674)

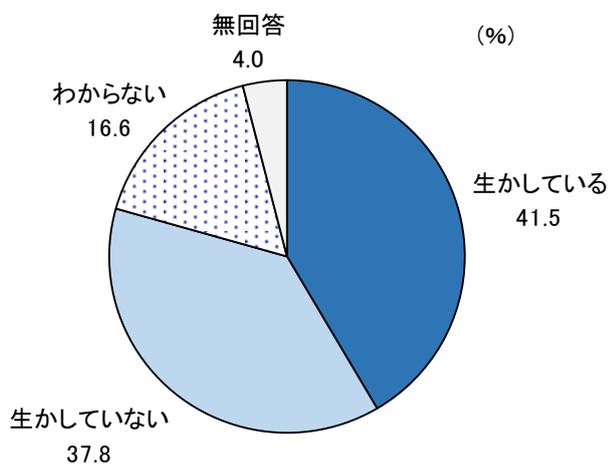
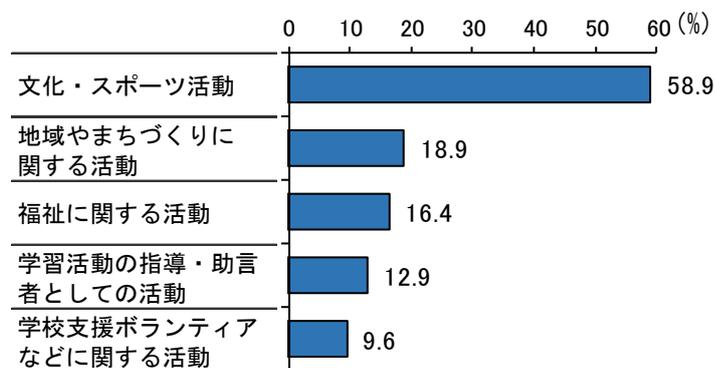


図 12-4 経験した生涯学習活動を生かしている分野 (上位 5 位) (n=280)



### 13. 広報について

- 市政情報を主に得ているものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が7割強で最も多く、市政情報を得るために活用したことがあるものについても「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が8割弱で最も多い。
- 広報こしがやの「AR（拡張現実）」技術の感想は『良いと思う』（「実際に使ってみて良いと思う」+「実際に使っていないが良いと思う」）が3割半ば。
- 広報こしがやの感想は『分かりやすい』（「分かりやすい」+「おおむね分かりやすい」）が「お知らせ版」で約7割、「季刊版」で7割弱。
- テレビ広報番組「いきいき越谷」の視聴状況は「知っており、視聴したこともある」が2割半ば、放映時間は「ちょうど良い」が2割半ば。

図 13-1 市政情報を得ているもの（上位 5 位）  
(n=2,496)

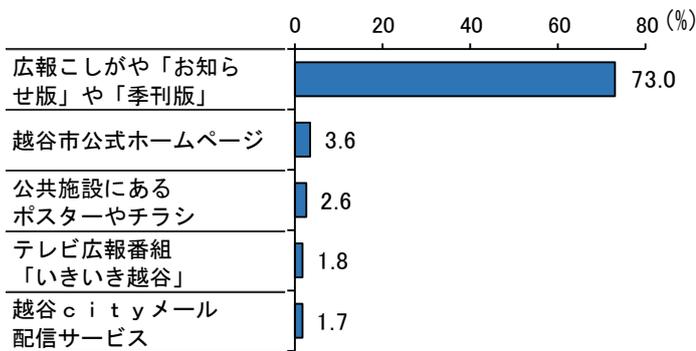


図 13-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの（上位 5 位）(n=2,496)

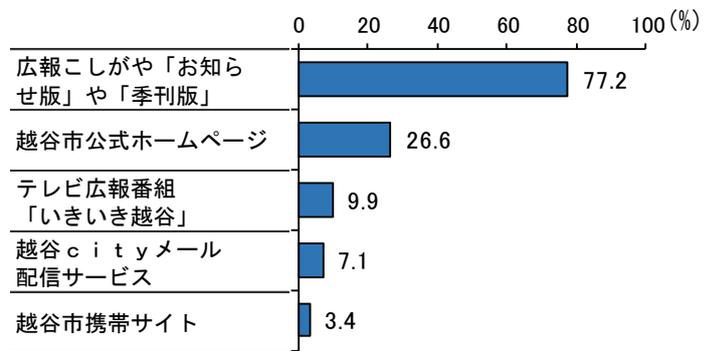


図 13-3 広報こしがやの「AR（拡張現実）」技術の感想 (n=2,496)

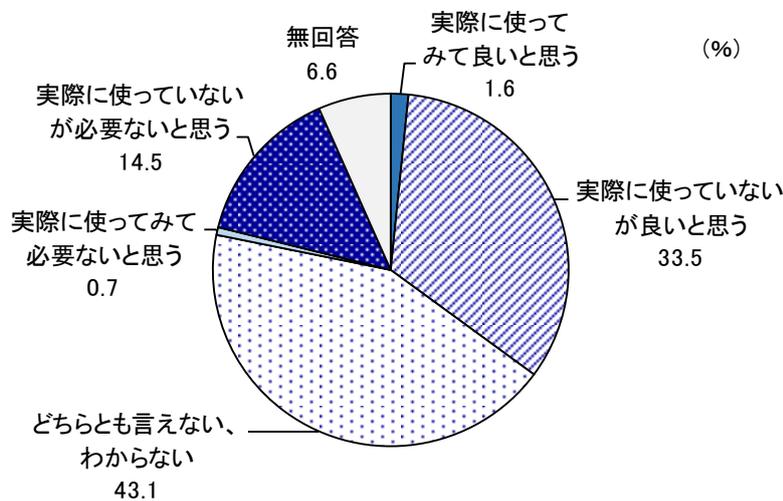


図 13-4 広報こしがや「お知らせ版」「季刊版」の感想 (n=1,926)

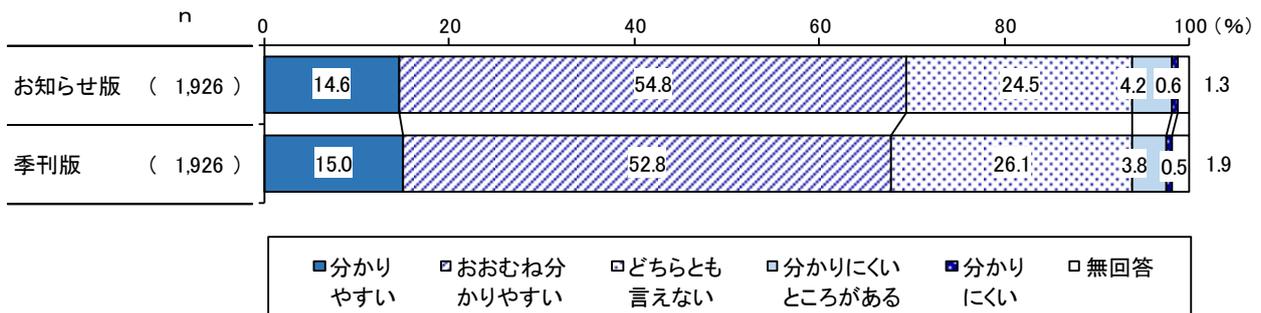


図 13-5 テレビ広報番組「いきいき越谷」の視聴状況 (n=2,496)

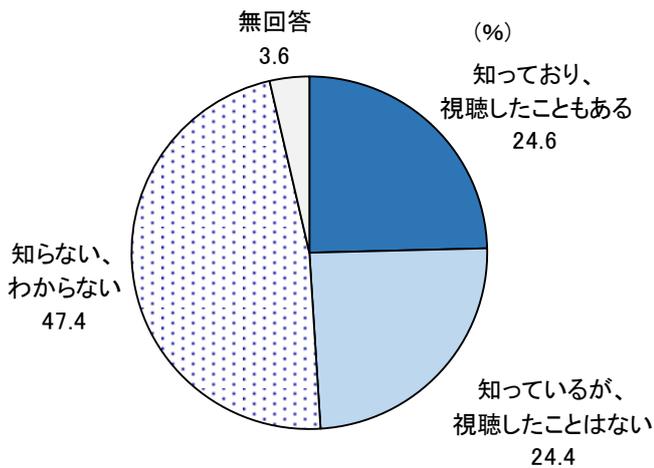
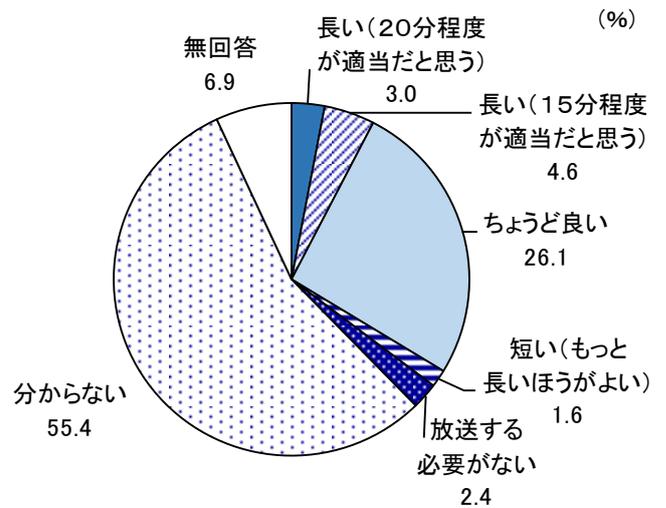


図 13-6 テレビ広報番組「いきいき越谷」の放映時間 (n=2,496)



#### 14. 越谷市の施策について

○市の施策に対して、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は「駅周辺の整備」が4割半ばで最も多い。

○市の施策に対して、今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は「防犯対策」が3割半ばで最も多い。

図 14-1 よくなってきたと感じるもの (上位 10 位) (n=2,496)

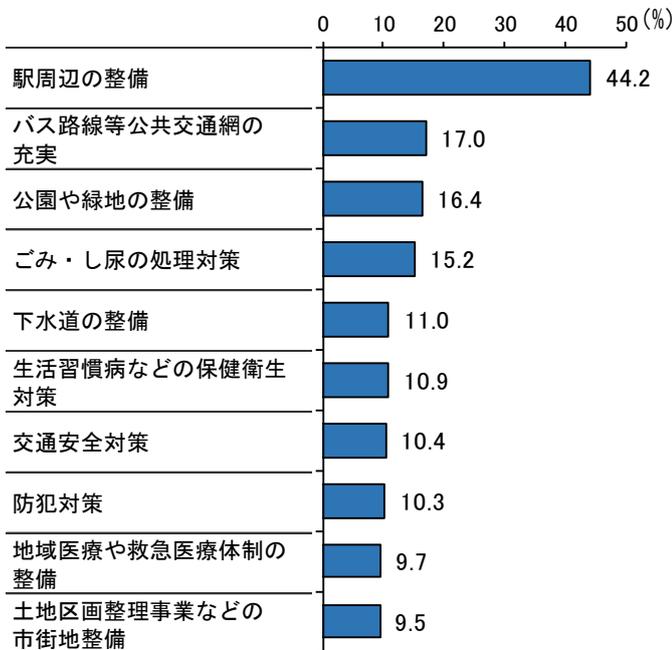
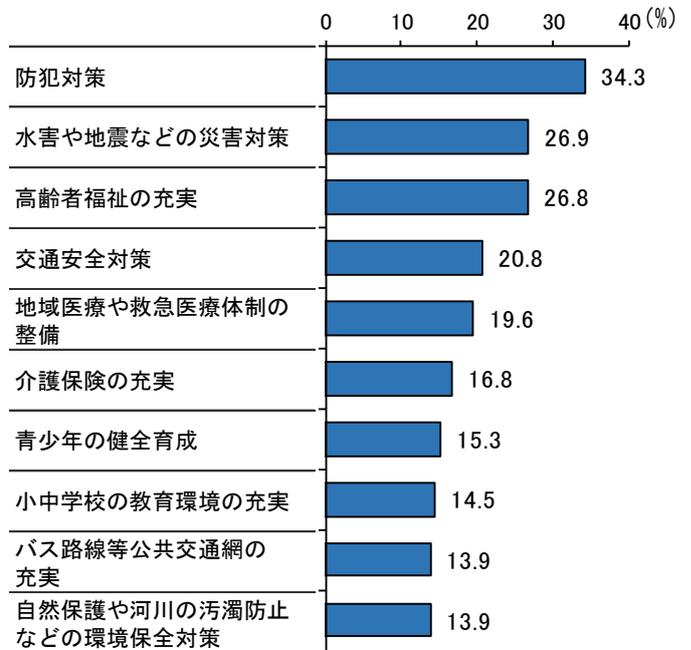


図 14-2 特に力を入れるべきだと思われるもの (上位 10 位) (n=2,496)



# 市政世論調査報告書 概要版

平成27年11月

---

発行：越谷市 市長公室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

電話 048-963-9117（直通）

---